

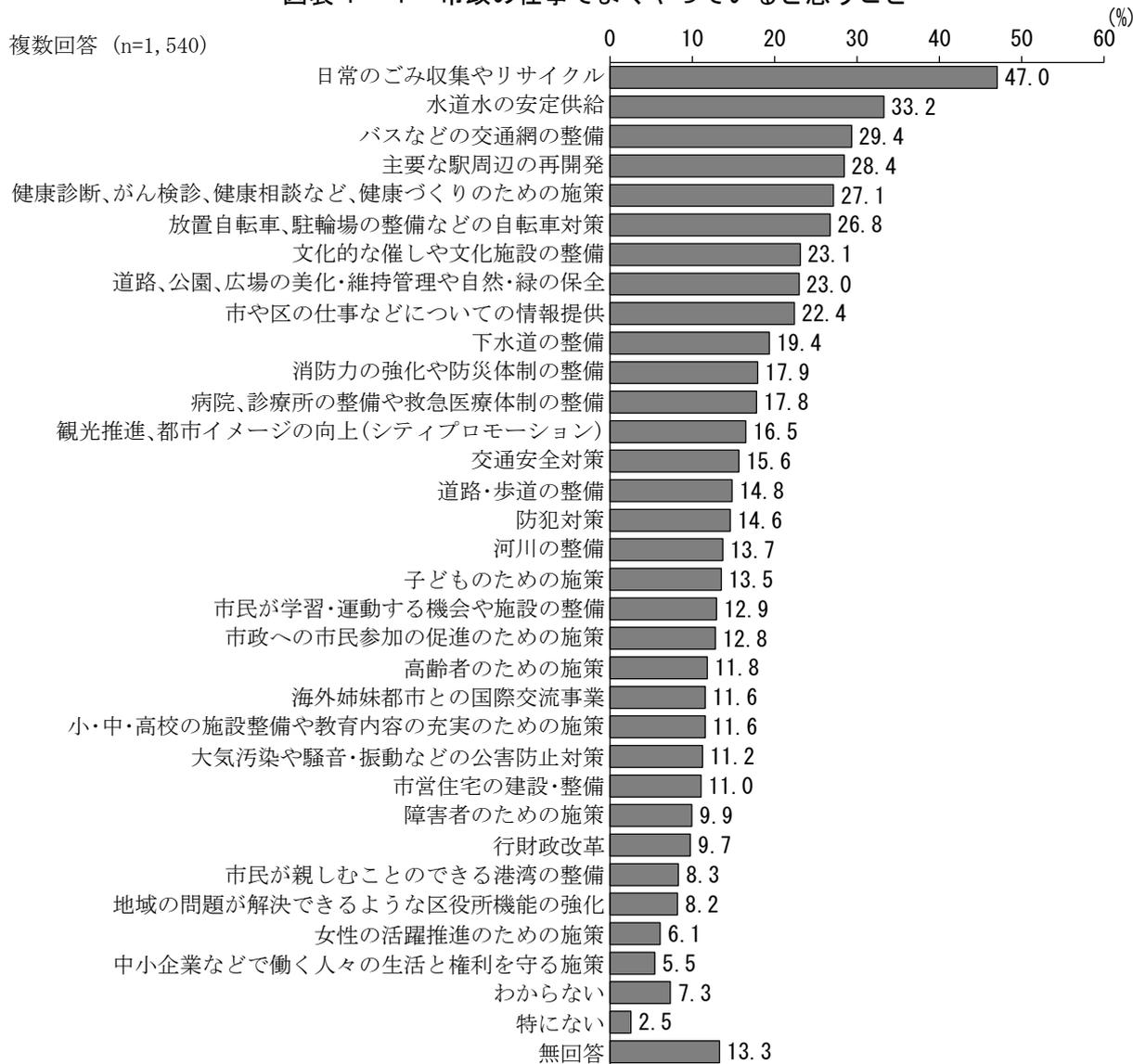
4 市政に対する評価と要望について

4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと

◎「日常のごみ収集やリサイクル」が47.0%

問9. 川崎市の市政について総合的にうかがいます。あなたは、川崎市が行っている施策や事業の中で、よくやっていると思われるものはどれですか。(〇はいくつでも)

図表4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと



市政の仕事でよくやっていると思うことは、「日常のごみ収集やリサイクル」(47.0%)が最も高く、次いで、「水道水の安定供給」(33.2%)、「バスなどの交通網の整備」(29.4%)、「主要な駅周辺の再開発」(28.4%)の順となっている。

図表4-2 市政の仕事でよくやっていると思うこと（経年比較）

	平成30年度 (n=1,540)	平成25年度 (n=1,422)	平成20年度 (n=1,411)
日常のごみ収集やリサイクル	47.0%	43.1%	45.1%
水道水の安定供給	33.2%	31.7%	29.3%
バスなどの交通網の整備	29.4%	28.4%	27.4%
主要な駅周辺の再開発	28.4%	23.8%	22.6%
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	27.1%	24.8%	16.4%
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	26.8%	26.4%	22.7%
文化的な催しや文化施設の整備	23.1%	19.0%	20.7%
道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全	23.0%	22.5%	21.0%
市や区の仕事などについての情報提供	22.4%	17.0%	18.4%
下水道の整備	19.4%	19.5%	21.2%
消防力の強化や防災体制の整備	17.9%	15.7%	13.7%
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	17.8%	17.6%	9.4%
観光推進、都市イメージの向上(シティプロモーション)	16.5%	11.3%	11.2%
交通安全対策	15.6%	14.7%	13.6%
道路・歩道の整備	14.8%	14.2%	16.9%
防犯対策	14.6%	12.9%	11.0%
河川の整備	13.7%	15.3%	15.1%
子どものための施策	13.5%	10.7%	8.9%
市民が学習・運動する機会や施設の整備	12.9%	12.5%	10.7%
市政への市民参加の促進のための施策	12.8%	9.6%	10.0%
高齢者のための施策	11.8%	11.1%	7.5%
海外姉妹都市との国際交流事業	11.6%	12.7%	13.1%
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	11.6%	9.0%	7.7%
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	11.2%	9.5%	7.9%
市営住宅の建設・整備	11.0%	11.1%	10.6%
障害者のための施策	9.9%	8.5%	7.0%
行財政改革	9.7%	8.4%	7.4%
市民が親しむことのできる港湾の整備	8.3%	8.4%	10.1%
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	8.2%	6.8%	5.2%
女性の活躍推進のための施策	6.1%	6.2%	5.8%
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	5.5%	4.9%	4.5%
わからない	7.3%	7.7%	7.2%
特にない	2.5%	2.6%	2.3%
無回答	13.3%	13.6%	14.6%

※「文化的な催しや文化施設の整備」：平成20年度及び25年度では「映画祭、国際会議など文化的な催しや活動」と「美術館、各種ホールなど文化施設の整備」で実施しており、両年の数値は2項目の平均値

※「道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保存」：平成20年度及び25年度では「道路、公園、広場の美化・清掃」「公園の整備や維持管理」「自然や緑の保全」で実施しており、両年の数値は3項目の平均値

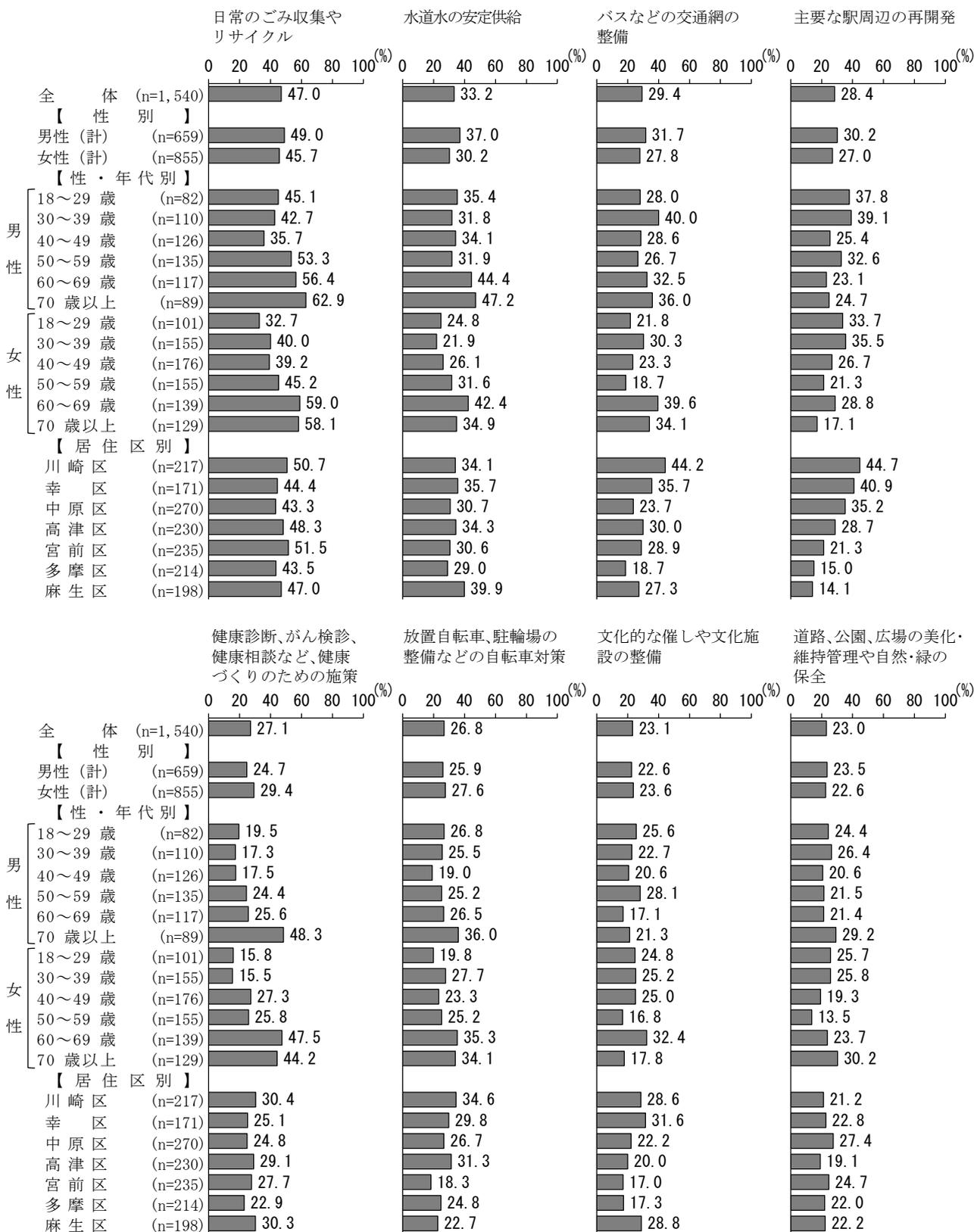
※「観光推進、都市イメージの向上(シティプロモーション)」：平成20年度及び25年度では「観光推進、シティセールス(都市イメージの向上)」で実施

※「市民が学習・運動する機会や施設の整備」：平成20年度及び25年度では「市民が学習する機会や施設の整備」と「スポーツ・レクリエーションの施設整備」で実施しており、両年の数値は2項目の平均値

※「女性の活躍推進のための施策」：平成20年度及び25年度では「女性の地位向上のための施策」で実施

上位3項目は、5年前(平成25年度)、10年前(平成20年度)と同様の順位となっている。

図表4-3 市政の仕事でよくやっていると思うこと(性/年齢別・居住区別、上位8項目)



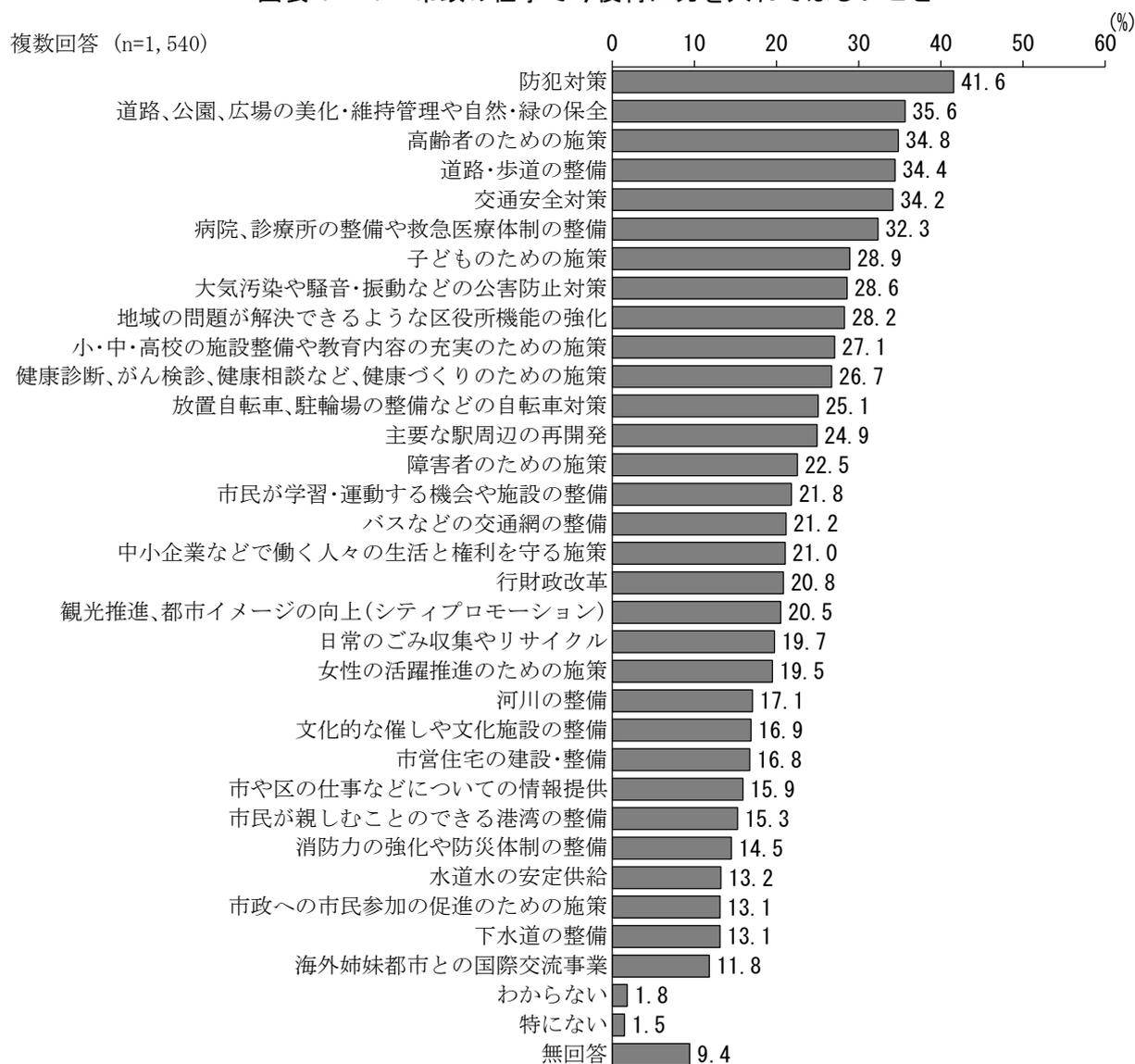
性/年齢別では、「日常のごみ収集やリサイクル」、「水道水の安定供給」は、男女とも60~69歳と70歳以上で高い。

4-2 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと

◎「防犯対策」が41.6%

問9. 川崎市の市政について総合的にうかがいます。あなたは、川崎市が行っている施策や事業の中で、今後特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。(〇はいくつでも)

図表4-4 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと



市政の仕事で今後特に力を入れてほしいことは、「防犯対策」(41.6%)が最も高く、次いで、「道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全」(35.6%)、「高齢者のための施策」(34.8%)、「道路・歩道の整備」(34.4%)、「交通安全対策」(34.2%)、「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」(32.3%)の順となっている。

図表4-5 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（経年比較）

	平成30年度 (n=1,540)	平成25年度 (n=1,422)	平成20年度 (n=1,411)
防犯対策	41.6%	42.8%	51.3%
道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全	35.6%	31.9%	33.5%
高齢者のための施策	34.8%	38.5%	44.6%
道路・歩道の整備	34.4%	34.8%	28.1%
交通安全対策	34.2%	35.7%	36.7%
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	32.3%	39.3%	52.3%
子どものための施策	28.9%	33.2%	36.6%
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	28.6%	37.1%	36.9%
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	28.2%	30.0%	32.2%
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	27.1%	28.4%	27.7%
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	26.7%	27.9%	37.4%
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	25.1%	29.0%	36.1%
主要な駅周辺の再開発	24.9%	20.7%	20.4%
障害者のための施策	22.5%	26.6%	33.4%
市民が学習・運動する機会や施設の整備	21.8%	20.8%	21.7%
バスなどの交通網の整備	21.2%	20.8%	18.0%
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	21.0%	23.6%	24.7%
行財政改革	20.8%	30.8%	32.0%
観光推進、都市イメージの向上(シティプロモーション)	20.5%	19.5%	16.3%
日常のごみ収集やリサイクル	19.7%	25.7%	24.0%
女性の活躍推進のための施策	19.5%	18.8%	16.9%
河川の整備	17.1%	17.2%	16.7%
文化的な催しや文化施設の整備	16.9%	15.2%	13.2%
市営住宅の建設・整備	16.8%	16.7%	17.5%
市や区の仕事などについての情報提供	15.9%	21.4%	21.7%
市民が親しむことのできる港湾の整備	15.3%	14.7%	13.1%
消防力の強化や防災体制の整備	14.5%	16.8%	17.3%
水道水の安定供給	13.2%	13.8%	14.8%
市政への市民参加の促進のための施策	13.1%	16.8%	18.6%
下水道の整備	13.1%	14.6%	12.5%
海外姉妹都市との国際交流事業	11.8%	11.8%	8.6%
わからない	1.8%	2.7%	1.6%
特にない	1.5%	1.5%	0.9%
無回答	9.4%	6.3%	5.8%

※「文化的な催しや文化施設の整備」：平成20年度及び25年度では「映画祭、国際会議など文化的な催しや活動」と「美術館、各種ホールなど文化施設の整備」で実施しており、両年の数値は2項目の平均値

※「道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全」：平成20年度及び25年度では「道路、公園、広場の美化・清掃」「公園の整備や維持管理」「自然や緑の保全」で実施しており、両年の数値は3項目の平均値

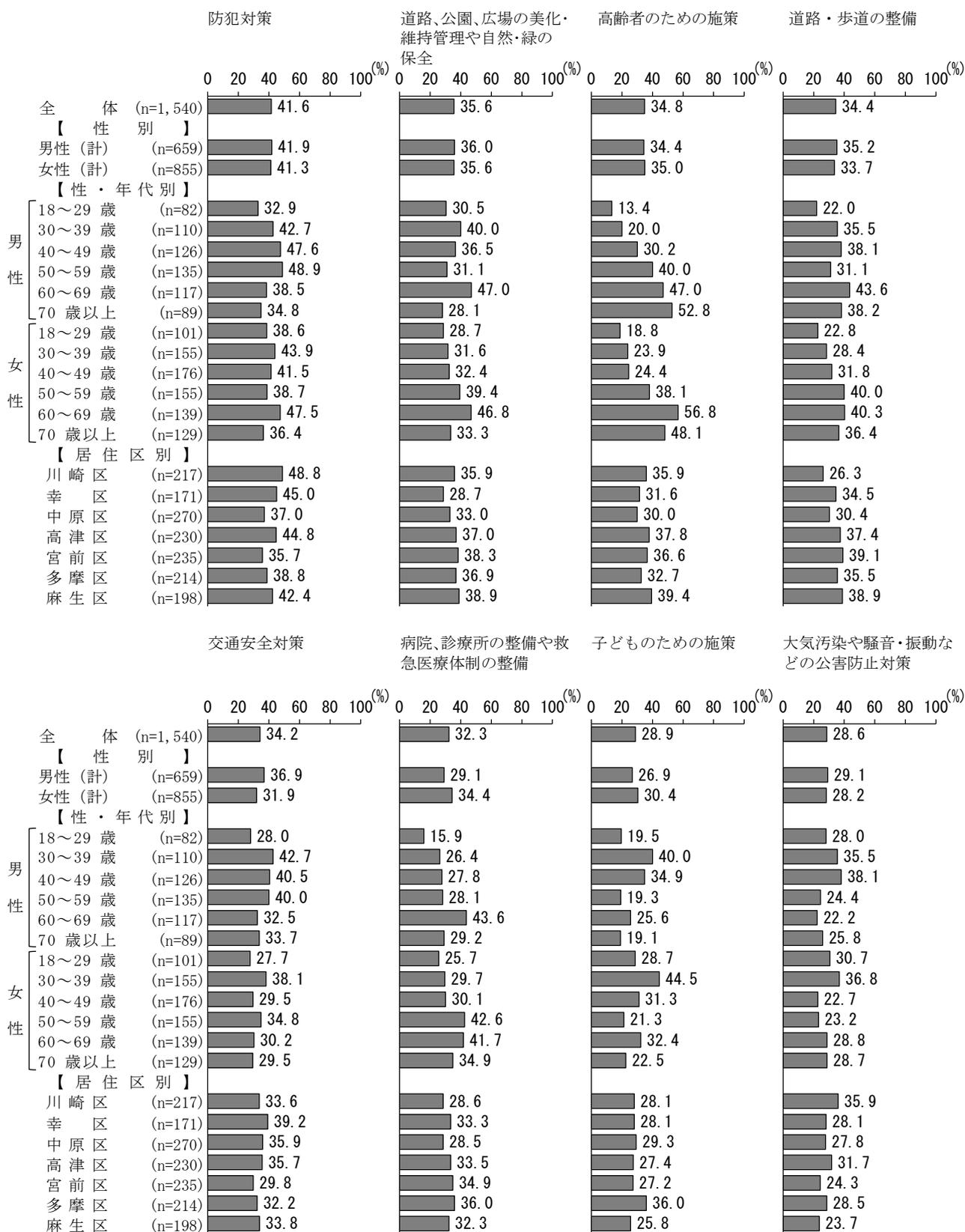
※「観光推進、都市イメージの向上(シティプロモーション)」：平成20年度及び平成25年度では「観光推進、シティセールス(都市イメージの向上)」で実施

※「市民が学習・運動する機会や施設の整備」：平成20年度及び25年度では「市民が学習する機会や施設の整備」と「スポーツ・レクリエーションの施設整備」で実施しており、両年の数値は2項目の平均値

※「女性の活躍推進のための施策」：平成20年度及び25年度では「女性の地位向上のための施策」で実施

上位3項目について、10年前(平成20年度)、5年前(平成25年度)からの推移を、10年前→5年前→今回の順でみると、「防犯対策」は2位→1位→1位、「高齢者のための施策」は3位→3位→3位となっており、「道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全」については、10年前と5年前は3つの項目に分かれていたが、3項目のいずれも上位5項目以内に入っていなかった。

図表4-6 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（性／年齢別・居住区別、上位8項目）



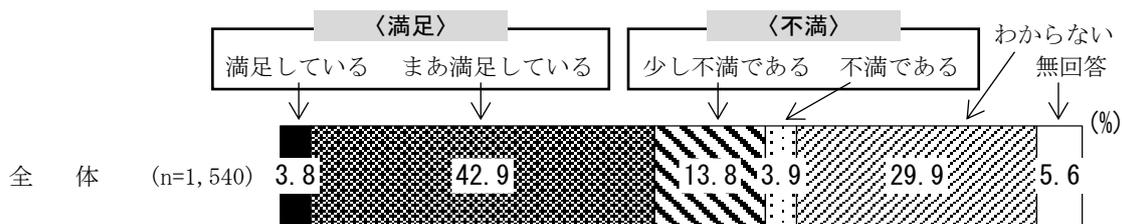
性／年齢別では、「防犯対策」は男性の40～49歳と50～59歳、女性の60～69歳で高い。「道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全」は男女とも60～69歳で特に高い。

4-3 施策や事業の総合的な満足度

◎〈満足〉が46.7%

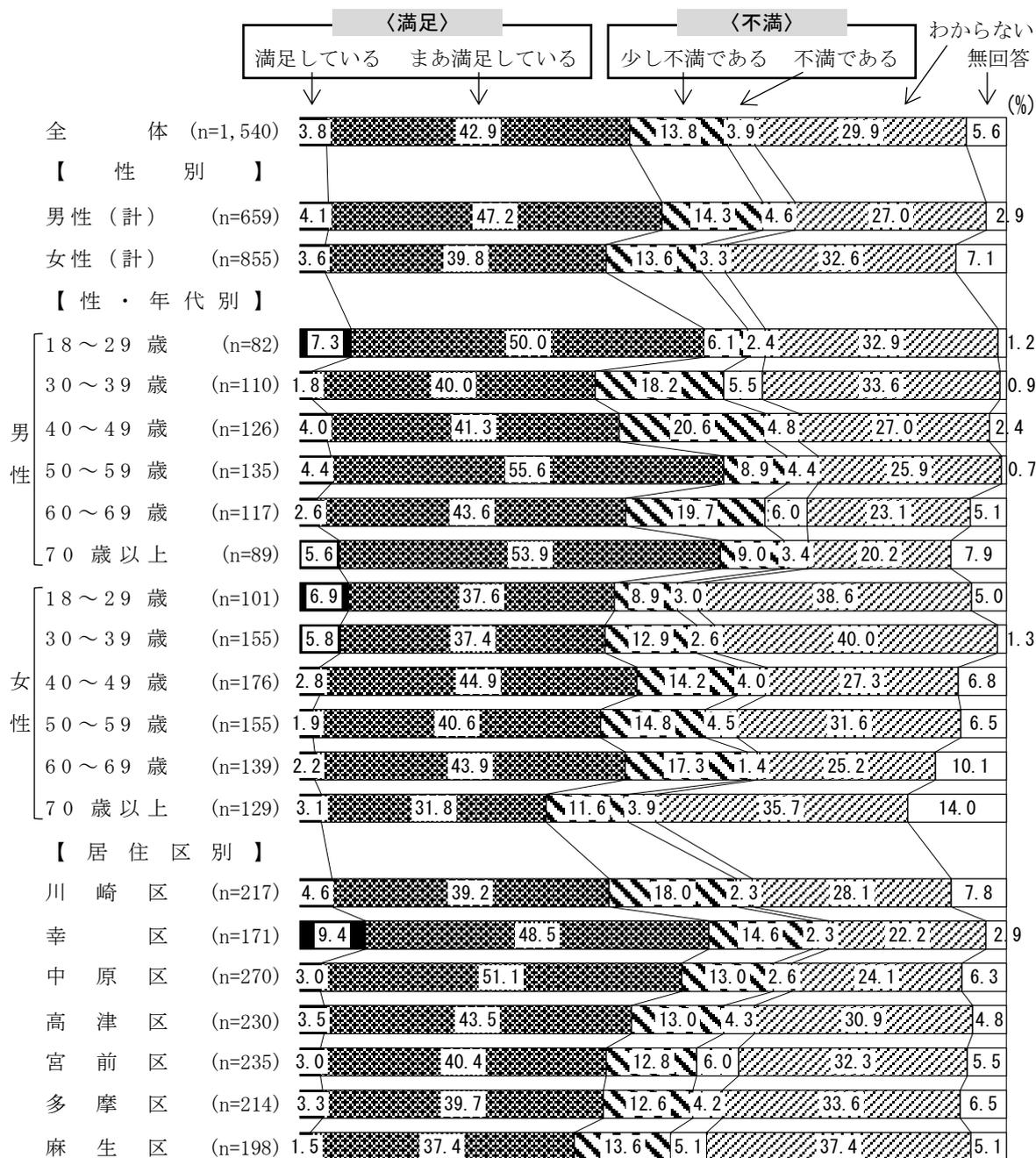
問 10. あなたは、川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。(〇は1つ)

図表4-7 施策や事業の総合的な満足度



施策や事業の総合的な満足度は、「満足している」(3.8%)と「まあ満足している」(42.9%)を合わせた〈満足〉が46.7%となっている。一方、「少し不満である」(13.8%)と「不満である」(29.9%)を合わせた〈不満〉は17.7%となっている。

図表4-8 施策や事業の総合的な満足度（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、〈満足〉は男性の50~59歳(60.0%)、70歳以上(59.6%)の順で高い。一方、〈不満〉は、男性の60~69歳(25.6%)、40~49歳(25.4%)の順で高い。

居住区別では、〈満足〉は、幸区(57.9%)、中原区(54.1%)の順で高い。一方、〈不満〉は、川崎区(20.3%)、宮前区と麻生区(ともに18.7%)の順で高い。